

平成 27 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 チャー チェンロン
(コード：9318、東証第 2 部)
問合せ先 企画管理部 天神 雄一郎
(TEL. 03-5561-6040)

経営体制の再構築と新たな経営戦略について

－ 代表取締役の異動内定並びに臨時株主総会の開催、臨時株主総会招集のための基準日設定及び付議議案に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 18 日開催の取締役会において、以下のとおり、経営体制の再構築に係る代表取締役の異動について内定しましたので、お知らせいたします。

また、上記内定に関連して、同取締役会において、臨時株主総会（以下、「本臨時株主総会」といいます。）の開催、臨時株主総会開催に係る基準日設定、臨時株主総会開催日及び付議議案について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 経営体制の再構築と新たな経営戦略について

(1) 経営体制の再構築について

当社グループは、安定的にキャッシュ・フローを生み出す収益基盤の確立を通じて財務基盤を強化することが最大の経営課題であると認識しており、その実現のために企業投資及び不動産投資等の知識や経験、投資案件の発掘における人的ネットワークの拡充、さらには投資先事業の経営及び運営に必要な能力を有する人材の確保・育成を進めてきました。一方、こうした人的基盤の拡充や既存社員の知識や経験の蓄積には時間を要しており、本社部門における経費削減努力などの成果が見られるものの、平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算では当期純損失 239 百万円となり黒字転換には至っておらず、引き続き経営状況及び財政状況の立て直しの途上にあります。

また、社内の内部管理及び内部統制に係る体制が不十分であったこと等から、開示情報の訂正や、同日付でお知らせしている「(訂正および変更)「第 10 回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」の一部訂正ならびに新株式および第 10 回新株予約権の資金使途の変更について」でご説明している発電事業のように当初開示した投資案件の内容及び想定とは異なる案件運営が発生しており、社内情報共有体制の強化、管理制度の再構築やガバナンス体制の強化が急務の課題であると認識しております。

このような現状の経営状態の認識を踏まえ、当社の経営体制の刷新と再構築を図るために、国内の広範な業界への人脈と豊富な投資・金融事業の経験を有する新たな代表取締役を迎えるとともに、新たな経営体制の下で、実現可能性が高く安定的な収益の確保を実現できる事業分野への経営資源の徹底した集中を行うべく、経営戦略についても新たな方針を定めることとしました。

(2) 新たな経営戦略と方針について

当社グループは、かかる新たな経営体制の下での経営方針について、従来から目標として掲げている安定的なキャッシュ・フローを生み出す収益基盤の確立を通じた財務基盤の強化に加え、高い収益率を実現する投資案件の厳選と遂行、厳格なコスト管理、企業ガバナンス体制の向上、及び国内金融市場での多様な手法による調達を可能にする財務基盤と経営状態の確立、をその目標に掲げます。また、新たな経営体制の下での事業戦略として、投資業務、不動産投資事業、事業アドバイザーの従来の事業に加え、金融事業についても主な柱として掲げていく方針です。

また、新たな経営体制の下、内部統制システムの実効性の確保、内部監査の拡充、リスク管理体制の改善・向上、及び社内の情報共有システムの質的改善やガバナンス体制の強化についても重要な経営課題として取り

組んでまいります。

2. 代表取締役異動の理由

今回上記のような経営体制の再構築のために、本日開催の取締役会において、株式会社エス・エー・コンサルティングの代表取締役社長である網屋信介氏を次期代表取締役社長とし、当社現代表取締役社長チャーチェンロンが退任することについて内定いたしました。網屋信介氏は本臨時株主総会及び本臨時株主総会後の取締役会の決議を経て、平成 28 年 1 月 26 日付で代表取締役社長に就任する予定です。また、チャーチェンロンは、本臨時株主総会終結の時をもって、当社代表取締役社長および取締役を退任する予定です。

網屋信介氏は、米国大手投資銀行であるメリルリンチの日本法人であるメリルリンチ日本証券株式会社の投資銀行本部長、取締役副会長を務めるなど 25 年間、国内外の証券会社で資金調達及び M&A 業務に従事してきました。平成 18 年には当時東証一部上場の株式会社ニッシン（後に NIS グループ株式会社に改名）の代表取締役社長として同社の経営再建と財務再構築を実現しております。また、平成 21 年からは衆議院議員となり平成 24 年第三次野田改造内閣で財務大臣政務官及び政府税制調査会事務局長に就任。その後、平成 25 年これまでの広範な顧客リレーションシップを基盤にした経営コンサルティング会社、株式会社エス・エー・コンサルティングを設立し、国内外の顧客の経営戦略のアドバイザーに従事してきました。

当社は、網屋信介氏を代表取締役社長として迎え、そのリーダーシップの下で経営再建と財務基盤の強化を進めてまいります。網屋信介氏が有する広範な業界への人脈と様々な経営戦略、財務戦略、企業ガバナンスに関する知見・ノウハウを獲得することで、今後の投資事業に関する案件ソーシングの質及び量の飛躍的な拡大とともに当社の経営戦略遂行能力と内部管理体制の更なる改善・向上が可能になり、結果的に当社の中長期的な利益成長につながるものと考えております。

尚、当社の代表取締役社長チャーチェンロンが退任した場合にも、当社が現在進めている発電事業を含む既存事業については引き続き当社の大株主等有するアジア地域におけるネットワーク等を活用して案件発掘を進めていきますので、特段の影響は出ないものと見込んでおります。チャーチェンロンの東南アジアにおける人脈に基づいて案件発掘を行った PT INDIKA MITRA ENERGY（インディカ）との個別案件についても、当社にとって有利な条件での合意を確保すべく時間をかけて慎重に交渉を進めております。その他の個別の投資案件についても、その収益性や今後の見通し等総合的な見地から検証を進めており、今後の取り組み方針等個別具体の決定に至った際には速やかに開示いたします。

3. 新旧代表取締役の氏名及び役職名

(新任) 氏 名：網屋 信介 (アミヤ シンスケ)
新・役職名：代表取締役社長

(退任) 氏 名：チャー チェンロン (チャー チェンロン)
旧・役職名：代表取締役社長

4. 新任代表取締役の略歴

| 生年月日 | 略歴 | 所有株式数 (百株) |
|----------------------|--|------------|
| 昭和 32 年 10 月 3 日生 | 昭和 56 年 4 月山一証券株式会社入社 昭和 61 年 10 月モルガン・スタンレー証券 (現モルガン・スタンレーMUFG 証券株式会社) 入社 平成 6 年 7 月メリルリンチ証券 (現メリルリンチ日本証券株式会社) 入社 平成 14 年 1 月 同 投資銀行本部長就任 平成 16 年 4 月 同 取締役副会長兼投資銀行本部長就任 平成 18 年 6 月株式会社ニッシン 代表取締役社長就任 平成 21 年 8 月衆議院議員 | 0 |

| | | |
|--|--|--|
| | 平成 24 年 10 月財務大臣政務官就任 平成 25 年 5 月株式会社エス・エー・コンサルティング設立と同時 に代表取締役社長就任（現） | |
|--|--|--|

5. 就任予定日・退任予定日

網屋信介は、本臨時株主総会及び本臨時株主総会後の取締役会を経て、平成 28 年 1 月 26 日付で代表取締役社長に就任する予定です。

チャー チェンロンは、本臨時株主総会終結の時をもって、当社代表取締役社長および取締役を退任する予定です。

6. 本臨時株主総会招集のための基準日設定について

(1) 本臨時株主総会招集のための基準日について

当社は、平成 28 年 1 月 26 日（火）開催予定の本臨時株主総会において議決権を行使することのできる株主を確定するため、平成 27 年 12 月 3 日（木）を基準日として定め、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その議決権を行使できる株主といたします。

- ① 基準日 平成 27 年 12 月 3 日（木）
- ② 公告日 平成 27 年 11 月 19 日（木）
- ③ 公告の方法 電子公告（当社のホームページに掲載いたします）

<http://www.asiadevelop.com>

7. 本臨時株主総会の開催日及び付議議案について

(1) 本臨時株主総会開催日及び場所（予定）

- ① 開催日時 平成 28 年 1 月 26 日（火）午前 10 時から
- ② 開催場所 東京都港区白金台一丁目 1 番 1 号
八芳園 本館 6 階 「ノクターン」

(2) 本臨時株主総会付議議案

議案 取締役 1 名選任の件

以上